

6BD リバ・グループ 行為規範



BNP PARIBAS

The bank
for a changing
world



序文

BNP パリバの成功は、社員の皆さん一人一人の振舞いにかかっています。これは、BNP パリバの取締役会および経営陣の揺るがない確信です。

当社の経営陣と全社員はともに、プロフェッショナルとしての専門性および誠実性(いわゆる integrity)を基礎として、BNP パリバの未来を築くことにコミットしています。

これには、BNP パリバ・グループのすべての社員の積極的な取り組みに加え、私たちのビジネス・パートナー、顧客、株主、そして当社のビジネスがあるすべての国の政府および市民社会の信頼を得ること、を必要とします。

そのためには、当然、私たちは、法令および諸規則を厳格に遵守しなければなりません。しかし、それにとどまらず、私たちがビジネスのあらゆる場面で行う決定が、倫理的責任感に裏打ちされたものである必要があります。私たちにとって重要なのは、不適切な出来事や失敗から学ぶ能力です。

私たちのビジネスの世界は、加速したペースで変化を続けています。しかし、BNP パリバは、妥協を排した強固な価値観(バリュー)に根ざした企業文化により、そうした変化を予測し、それに適応し、創造的に行動することにより、変化にうまく対応することができるはずで

この精神が、私たちの行為規範を形作ります。行為規範は、BNP パリバのコア・バリュー(基本的な価値観)と一致する、私たちの行動の基準となるルールを定めるものです。行為規範は、私たちの考え方や行動を導く指針です。そして、行為規範は、私たちが目指すもの、すなわち、グローバルに事業展開する欧州の銀行の中で最も尊敬される銀行の一つ、としてあるべき姿、を示しています。

行為規範は、私たちの行動と決定を導く指針です。しかし、あらゆる状況に適用できる絶対的なルールというものはありません。行為規範は、各人の判断によってその精神が常に尊重されることにより、初めてその本来の趣旨・機能を発揮できるものです。

私たちは、当社の社会貢献、団結そして成功を支える、このようなバリュー(価値観)とプリンシプル(原則)を、BNP パリバ・グループのすべての社員に共有してもらえると確信しています。



+

Jean Lemierre
取締役会会長

Jean-Laurent Bonnafé
最高経営責任者

2016年3月31日

目次

あらし > 06

● A / ミッションとバリュー > 08

ミッション > 09

バリュー > 10

● B / 行為基準 > 12

1 顧客の利益 > 14

顧客のニーズを理解する
顧客を公正に扱う
顧客の利益を守る
顧客の秘密の保護
販売およびマーケティングにおける透明性あるコミュニケーション
顧客の苦情を公正に取り扱う

2 ファイナンシャル・セキュリティ > 17

資金洗浄、贈収賄、汚職およびテロリスト金融を阻止するための取り組み
制裁措置および取引禁止措置の遵守

3 マーケット・インテグリティ > 18

自由かつ公正な競争の促進
市場濫用ルールへの遵守
利益相反の適切な管理

4 職業上の倫理 > 20

個人的な取引においてインサイダー情報を使用しないこと
社外活動における利益相反の回避
贈収賄および汚職の防止についての取り組み

5 同僚の尊重 > 22

プロフェッショナルとして最良の行動をすること
あらゆる形態の差別の否定
職場の安全の確保

6 グループの利益の保護 > 24

BNP パリバ・グループの長期的な価値の構築および保護
BNP パリバ・グループの情報の保護
コミュニケーションにおける責任
対外的に倫理的に行動すること
適切にリスク管理を行いつつ、責任をもってリスクをとる
BNP パリバ・グループを退職する際の責任

7 社会との関わり > 26

人権の尊重
環境保護および気候変動対策
公的機関の活動に対する責任ある対応

● C / 行為規範の実践 > 28

- + 意思決定を行うとき
- + 行為規範は、現地の法令および国際的な法令にどのように適合するか？
- + 現地懸念があるときは、声を上げる
- + 管理職(マネージャー)の責任

あらまし



BNP パリバ・グループの行為規範は、グループ内の全社員にとって、すべての行為の基準であり、組織のあらゆるレベルにおけるすべての意思決定を導く指針となるものです。このため、グループ内のあらゆる社内規程や手続も、行為規範との整合性を図る観点からレビューされ、必要に応じ、随時改訂されることとなります。

行為規範は、三つの部分から構成されます。まず、BNP パリバのミッションとバリューについて述べた第一部は、社員が行動する際の指針となり、また、その動機付けとなるものです。第二部は、すべての社員に、共有し実践してもらいたい行為に関するルール、すなわち行為基準を扱っています。最後に、第三部は、「行為規範の実践」と題して、行為規範の具体的な適用についてのガイドラインを述べています。

ミッションとバリュー

> **ミッション** — BNP パリバ・グループが何のために存在するのか、その目的は何かについて述べています。

> **バリュー(BNP パリバウエイ)** — 私たちの行動を動機付け、その方向を定める基本的な価値観です。バリュー(BNP パリバウエイ)は、四つの強みおよび四つの行動の源となるもの(原動力)からなります。

行為基準

行為基準は、BNP パリバ・グループのすべての社員が、理解し、従うべき行為に関するルールです。この行為基準を遵守することは、私たちがバリューを実践し、倫理的な水準を維持する上で不可欠であり、BNP パリバウエイに沿って行動するための必須条件です。

行為規範の実践

第三部は、行為規範の具体的な適用について詳細に説明しています。ここでは、それぞれの社員に何が期待されているのか、また、各社員が、意思決定を行う前に自ら問うべき質問を説明しています。また、行為規範が、法令または諸規則とどのような関係にあるのかという点や、私たちの内部通報に関する社内ポリシーについても触れています。それぞれのビジネス・ラインは、その事業活動に関して、実情に即して行為規範の精神・趣旨を具体化し、適用する必要があります。

A / ミッション とバリュー

BNP パリバ・グループの社会への貢献は、顧客の経営計画、プロジェクトまたは取引を支援しつつ、倫理的な方法で経済社会に資金の提供を行うという、経済的な責任に始まります。さらに、BNP パリバ・グループは、事業拠点を置く地域のコミュニティに密接に関わっており、そうした意味での社会的、市民的および環境上の責任も負っています。

BNP パリバ・グループの社員の仕事が社会にとって有意義なものとなるように、BNP パリバ・グループは、人権、労働、環境および汚職防止の分野において、最高水準の行動および倫理の基準を追求します。そのため、BNP パリバ・グループは、ビジネスの行う上での基本となる下記のような原則や基準を尊重することにコミットしています。

- > 国際連合 持続可能な開発目標¹
- > 国際連合 グローバル・コンパクト 10 原則²
- > OECD 多国籍企業行動指針³
- > 国際人権章典で定義される人権に関する国際的基準
- > 国際労働機関が定める国際労働基準⁴

¹ <http://www.undp.org/content/undp/en/home/mdgoverview/post-2015-development-agenda.html>

² <https://www.unglobalcompact.org/what-is-gc/mission/principles>

³ <http://www.oecd.org/corporate/mne/>

⁴ <http://www.ilo.org/global/standards/introduction-to-international-labour-standards/conventions-and-recommendations/lang--en/index.htm>

ミッション

BNP パリバのミッションは、経済社会に資金を提供し、倫理的な方法で顧客に助言を行い、そのプロジェクト、投資活動および資金管理を支援することです。

ミッション

ミッションは、BNP パリバ・グループの存立の理由と目的を明確に表明します。

私たちは、顧客、社員、株主といったステークホルダー（利害関係者）、そして社会に対し、ポジティブな影響を及ぼしたいと思えます。

私たちは、BNP パリバ・グループの統合ビジネスモデルを通じて、私たちの顧客に最高レベルのサービスとソリューションを提供します。

私たちは、社員の皆さんがやりがいを感じ、ここで働きたいと思う、よい職場を提供します。

私たちが目指すのは、業界で最も信頼されるプレイヤーになることです。そのため、私たちは、バリュー（当社の基本的な価値観）と倫理に基づき行動します。

今日のビジネス環境においては、私たちは、法令および諸規則を尊重するだけでは十分とはいえません。私たちは、BNP パリバの活動が私たちのすべてのステークホルダーにポジティブな影響を与えていること、および、BNP パリバ・グループは高収益企業であると同時に、経済社会において責任ある役割を果たしていることを、示す必要があります。

BNP パリバの、グループが一体として顧客にサービスを提供する統合的なビジネスモデルは、顧客が求めている最高水準のサービスの提供を可能にします。統合ビジネスモデルは、リスクを分散することだけが目的なものではありません。それは、顧客に対する私たちのサービスの提供の方法・あり方に関わるものでもあります。BNP パリバ・グループの統合ビジネスモデルにより、私たちは、顧客について詳細な知識を得ることができ、また、最高のソリューションを提供するために BNP パリバ・グループ内の幅広い人的資源と能力を活用することが可能になります。

グループが一体となる統合的なビジネスモデルによって、日々、世界中の顧客の信頼を獲得することが可能になりました。

私たちは、また、BNP パリバ・グループの最も貴重な資産である社員の期待にも気を配らなければいけません。BNP パリバ・グループに成功をもたらすのは、社員のハードワークとアイデアです。会社が成功するためには、社員が、互いに高め合う、働きがいのある職場で働いていることが必要です。

私たちの日々の行動が、バリュー（当社の基本的な価値観）に根ざし、皆が非の打ちどころのない行動を行うとき、同僚や顧客との信頼が生まれます。この信頼が、BNP パリバ・グループを、同業他社とは一線を画する存在にするのです。

BNP パリバ・グループのミッションは、幅広いステークホルダーに関連します。私たちは、皆、BNP パリバ・グループのバリュー（基本的な価値観）と行為基準が、単なる言葉の羅列ではなく、グループの中の個人・集団双方のレベルで「生きた道しるべ」となるように、これを実践していく責任があります。

BNP パリバ・グループでは、後述する「バリュー」が、そのミッションを実現するための行動の指針となっています。バリューは、会社全体のすべての行動および決定の基礎となるものです。

バリュー

「BNP パリバウェイ」と名付けられた私たちのバリュー（基本的な価値観または行動の指針）は、BNP パリバグループに属する数千人の社員の、「何に価値を認めるか」ということについての考え方を集約したものです。私たちのバリューは、BNP パリバグループの多くの社員の協働作業により形作られたものなのです。

BNP パリバグループに属する皆さんはすべて、日々の行動においてこのバリューを拠りどころにしなければなりません。では、このようなバリューとは何でしょうか。これを具体的に知ることにより、社員の皆さんは、自分に何が期待されているのか、BNP パリバをBNP パリバたらしめているものは何なのかについて、より深い理解をすることができはるはずで

こうしたバリューを持ち続けることは、当社の顧客、社員、株主、あるいはより広い範囲のコミュニティーの当社への信頼を守りつつ、変革と成長というBNP パリバグループの戦略を追求する上で、不可欠な要素です。

私たちの強み

これは、BNP パリバグループの土台です。これらの「強み」があることによって、BNP パリバグループは、ユニバーサルバンキング・モデルと業界トップの地位を将来にわたって維持します。

安定性

私たちは、長期志向の堅実な経営、多様かつ統合されたビジネスモデル（グループが一体的に協働するビジネスモデル）そしてグローバルに展開する拠点を基盤としてビジネスを行います。

責任

私たちは、顧客の利益によりよい貢献をする為に、責任と誠実を基盤とした企業文化をつくります。

専門性

私たちは幅広い専門的知識・経験を有します。

よい職場

私たちは、社員が公正にかつ敬意をもって扱われ、相互に高め合い、やりがいを感じる職場を作っていきます。

私たちの推進力となるもの

社員がつねに挑戦をつづけ成功するために、そしてBNP パリバグループの未来構築の為に努力し発展させなければならない分野です。

機動性

私たちは、社会の技術革新とデジタル化の利益を享受できるよう、変化に迅速に対応します。

コンプライアンス文化

私たちは、明確なルールを設け、コンプライアンスと企業倫理についての強固な企業文化を育みます。

顧客の満足

私たちの成功は、お客様に好んで選ばれる金融機関になれるかどうかにかかっています。私たちは、常にお客様の声に十分耳を傾け、お客様に寄り添ったサービスを提供します。

オープンであること

私たちは、ステークホルダーに対して常にオープンな姿勢を持つことを推進します。私たちは、BNP パリバグループの社員の全員が、自分が組織の一員として尊重されていることを感じられ、自分の意見を自由に述べ、そして必要な権限を与えられていると実感できるような会社になることを目指します。

バリューを実践し、ミッションを果たす ためには

バリューを実践し、ミッションを達成するためには、私たちは、時に勇気ある選択と決定をすることが必要です。BNPパリバ・グループは、下記について改善を続けて行きます。

どのようにビジネスを行うか

- > オープンかつ責任ある態度で、最高水準のコンプライアンスと倫理の基準をもって顧客のニーズに対応すること
- > 選択した事業で卓越した成果を達成するため、BNPパリバ・グループ内の専門的知識・経験を結集すること
- > 私たちの行動が、広い社会に及ぼす影響について考えること

どのように職務を行うか

- > デジタル革新やその他の有用なイノベーションに取り組むこと
- > 機動性を確保するため、働き方をさらに単純化・簡素化すること
- > 社員が、新しい試みにも積極的にチャレンジし、そこから何かを学ぶという精神を持てるようにすること
- > 明確な枠組みの中で社員を信頼し権限を与え、ビジネスチャンスの獲得と顧客開拓を担当させること
- > 組織のすべてのレベルにおいて意思決定を行い、各自の行動の結果に責任を持たせること

人材の育成等

- > 多様性を積極的に推進すること
- > 多様な経験を得る機会を提供するため、モビリティ（勤務地、勤務内容の変更）を奨励すること
- > 社員の才能、スキルの開発・向上に努め、BNPパリバ・グループのもっとも貴重な資産である人材への投資を継続すること

B / 行為基準



行為基準

バリュー(BNP パリバウエイ)に基づいて行動するためには、私たちは、ルールを尊重する必要があります。以下に、許容される行為と許容されない行為が列挙されていますので、参照して下さい。これらのルール(行為基準)に従って頂くことは、当社のバリュー(BNP パリバウエイ)および倫理基準を維持していくために不可欠です。また、社員の皆さんがBNP パリバウエイに沿って行動するための前提条件となります。

行為基準は、次の7つのテーマに従って整理されています。

テーマ	バリュー 強みおよび原動力	行為基準
顧客の利益	<ul style="list-style-type: none">> 専門性> 顧客の満足> コンプライアンス文化	<ul style="list-style-type: none">+ 顧客のニーズを理解する+ 顧客を公正に扱う+ 顧客の利益を守る+ 顧客の秘密の保護+ 販売およびマーケティングにおける透明性あるコミュニケーション+ 顧客の苦情を公正に取り扱う
ファイナンシャル・セキュリティ	<ul style="list-style-type: none">> 責任> コンプライアンス文化	<ul style="list-style-type: none">+ 資金洗浄、贈収賄、汚職およびテロリスト金融を阻止するために取り組む+ 制裁措置および取引停止措置の遵守
マーケット・インテグリティ		<ul style="list-style-type: none">+ 自由かつ公正な競争を促進する+ 市場濫用ルールを遵守する+ 利益相反の管理を適切に行う
職業上の倫理		<ul style="list-style-type: none">+ 個人的な取引においてインサイダー情報を使用しない+ 社外活動に関して利益相反を回避する+ 贈収賄および汚職の防止について取り組む
同僚の尊重	<ul style="list-style-type: none">> よい職場> オープンであること	<ul style="list-style-type: none">+ プロフェッショナルとして最良の行動をする+ あらゆる形の差別の否定+ 職場の安全の確保
グループの利益の保護	<ul style="list-style-type: none">> 安定性> 機動性	<ul style="list-style-type: none">+ BNP パリバ・グループの長期的な価値を築き、かつ、それを保護する+ BNP パリバ・グループの情報を保護する+ 責任あるコミュニケーションをする+ 対外的に倫理的に行動する+ 適切にリスク管理を行いつつ、責任をもってリスクをとる+ BNP パリバ・グループを退職する際は、責任ある態度をとる
社会との関わり	<ul style="list-style-type: none">> 責任> コンプライアンス文化	<ul style="list-style-type: none">+ 人権の尊重+ 環境保護および気候変動対策に貢献する+ 公的機関の活動に対し責任ある対応をする

1 顧客の利益

私たちの成功は、お客様に好んで選ばれる金融機関になれるかどうかにかかっています。お客様の信頼を得るために、私たちは、常に、法令および諸規則を遵守しつつ、顧客の利益を十分に守るよう行動しなければなりません。

これを達成するため、BNP パリバグループは、顧客ニーズを理解することに努めています。顧客とのコミュニケーションは、オープンで誠実なものでなければなりません。また、顧客に提供するサービスは、顧客のニーズと目的を達成するための最適の選択肢であるべきです。私たちは、お客様の長期的な利益を常に考慮するよう努めます。もし顧客が満足していない場合、状況を是正するため、速やかに対応する必要があります。

顧客のニーズを理解する

私たちには顧客のニーズを理解する義務があり、そして、私たちには

- > 適切な商品およびサービスを提供するために、顧客のニーズ、期待および関心を十分理解するよう努めるべき責任があります

顧客を公正に扱う

顧客を公正に扱うことは、私たちのビジネスの不可欠の前提です。

そして、私たちは

- > 顧客の信頼を得るために、あらゆるプロフェッショナルとしての活動において、公正かつ誠実に、そして透明性をもって行動します
- > 特定の顧客を不適切に優遇することはしません
- > 経営難にある顧客とは、協力して互いに有益となるソリューション(解決案)を見出します

顧客の利益を守る

私たちは、顧客の最善の利益を守ることに強くコミットします。そのため、次のことに留意し、取り組む必要があります。

- > BNP パリバ・グループが事業活動をしているマーケットにおいて適用される、顧客の権利を保護するルールを理解し、それを遵守する
- > 顧客の利益に配慮して商品の設計・組成を行う
- > 顧客に容易に説明できる商品を販売する
- > 商品は、顧客が理解できるものでなければならない
- > 適用法令および諸規則に従い、公正かつ透明性のある価格設定を行う
- > 当社の事業活動が適用法令(税法も含む)および諸規則を遵守したものとなるようにする
- > 顧客の承認(例えば、委任または指図)なしには、顧客のための行為はしない

当社の商品を販売する会社に関しては

- > 当社のバリューと行為規範に係るプリンシプルを理解し、共有してくれる販売会社をパートナーとする
- > 商品の組成者(当社)と販売会社の役割と責任を十分に理解し、顧客に不利益を与える可能性がある利益相反が生じないようにする

顧客の秘密の保護

顧客の秘密が常に守られることはとても重要です。顧客の秘密が保護されるということは、次のことを意味します。

- > すべての顧客との取引関係およびその他の業務上の関係を秘密情報として厳格に取り扱い、管理すること
- > 顧客の情報を常に秘密情報として扱い、顧客の情報の開示・使用は、適用法令により認められる場合か、顧客の明示的な同意のある場合に限って行うこと
- > BNP パリバ・グループ内での顧客情報の共有は、適用法令および社内規程に従い、顧客への最善のサービスを提供するためにその情報を知る必要がある者(need-to-know のある者)との間に限定すること
- > 具体的な業務上の目的のために必要なデータだけを収集すること
- > BNP パリバ・グループに設けられている情報障壁を遵守すること

? 顧客が私に、パートナーと離婚することになり、自己名義の口座をBNP パリバに開設することを考えていると告げました。さらに、顧客は、金銭的に困っているため、パートナーがBNP パリバに預けている個人資産について情報を教えてほしいと依頼して来ました。この顧客を助けるべきでしょうか？

もちろん、してはいけません。あなたは、当社が金融機関として負う守秘義務に服しています。このような要請はお断わりしなければなりません。

? ある事業家が、自分の個人資産である不動産を事業目的の商業用不動産に転用することを検討しています。彼は、この転用のための最善のスキームを提案することを私に求めました。顧客との会議の前に、ウェルス・マネジメント部門の同僚とこの顧客に関する情報を共有し、協議することはできますか？

BNP パリバ・グループの設ける情報障壁を守る限り、当該顧客の情報を共有することは可能です。BNP パリバ・グループ内では、それが顧客の最善の利益となり、BNP パリバ・グループが一体となって顧客にサービスを提供する統合ビジネスモデルの付加価値を提供できる場合には、顧客情報を共有することができます。

販売およびマーケティングにおける 透明性あるコミュニケーション

顧客とのビジネス・コミュニケーションでは、提供するサービスおよび商品に関し透明性のある説明や情報の提供が必要です。そのために下記のことを励行して下さい。

- 顧客とのコミュニケーションは、公正かつ誠実で透明性があり、容易に理解でき、誤解を与えないものであること
- 顧客が次のことを理解できるように必要な情報をすべて提供すること

—何を購入しているのか(予想されるパフォーマンス、価格およびリスク特性も含む)

—何のために対価を払っているか(顧客が選んだ、商品、サービスおよびアドバイスに関する費用も含む)

- BNP パリバ・グループの商品およびサービスの販売およびマーケティングを誠実に行うこと
- 顧客の質問には、できる限り、かつ、適時に回答すること

顧客の苦情を公正に取り扱う

私たちには、顧客の苦情を公正に取り扱う義務があります。それは次のことを意味します。

- 顧客の苦情を、公正に、透明性ある方法で、適時に処理すること
- 誤りが見つかった場合、できるだけ早く是正すること

+
? 顧客が、ある商品の購入を希望していますがその商品は、BNP パリバ・グループのリスク・フレームワークでは顧客に適すと考えられないものです。何度も協議したにもかかわらず、顧客は提案した代替案に納得せず、取引関係を他の業者へ移すと迫ります。私はどうすべきでしょうか？

私たちは、関連があるすべての情報を顧客に提供する義務があります。あなたは、顧客が商品の特性や関連するリスクを十分に理解できるように、時間と労力を費やさなければなりません。あなたは、顧客に対し、その商品がなぜ顧客の目的やニーズに合うのか、あるいは、合わないのかと考える理由を説明すべきです。商品がその顧客の利益にならないと思うのであれば、その取引を行うべきではありません。適切な代替商品を提案するのがよいでしょう。必要な場合、上司にサポートを求めることができます。顧客の長期的な利益と BNP パリバ・グループの評判は、短期的な利益に勝ります。その旨を顧客と率直に話し、必要であれば、その取引をやめるべきです。

? 法人顧客が、特定のリスクをヘッジするための取引を希望しています。どころが、残念ながら、該当するエクスポージャーは、マーケットでは完全にヘッジすることができません。唯一の解決策は、プロキシ・インデックスを利用することで、それは過去において、対象のエクスポージャーの動向と高い相関関係があることが証明されています。当社のマーケティング用資料では、プロキシ・インデックスの利用は過去 5 年間非常に効率的なヘッジであったことが記載されています。私はこのことを顧客にどのように伝えるべきでしょうか？

過去の相関関係は、将来においてヘッジがエクスポージャーと相関関係を持つことを保証するものではありません。あなたは、このリスクについて、可能性は低いと思われても、顧客に指摘すべきです。必要な場合、どのような影響があり得るかを示すためにシミュレーションを提供してもよいでしょう。

2 ファイナンシャル・ セキュリティ

BNP パリバ・グループは、顧客の利益に奉仕することを旨とし、お客様によりサービスを提供するよう努めます。しかし、同時に、私たちは、BNP パリバ・グループの活動が社会に対して与える影響にも注意を払う必要があります。BNP パリバ・グループは、犯罪行為およびテロ行為を防止するための適用法令の遵守にコミットし、また金融業界で実施されている国際的な取り組みをサポートします。

これらの法令はとて複雑で、事業分野や地域によってその適用が異なることから、BNP パリバ・グループは、コンプライアンスと倫理を重視する企業文化を根付かせ、法令遵守を徹底するため、社内規程等明確なルールを定め、実施しています。

制裁措置および取引禁止措置の遵守

BNP パリバ・グループは、各国が実施している制裁措置および取引禁止措置を遵守します。これは、次の義務を意味します

- > BNP パリバ・グループが活動している、あるいは関係がある市場で実施されている経済制裁および取引禁止措置を十分理解すること
- > BNP パリバ・グループが活動している国の制裁措置および取引禁止措置に関する当グループの内部規程および現地の法令を遵守すること
- > 制裁措置を逃れようとする試みはすべて、Group Financial Security に報告すること

資金洗浄、贈収賄、汚職およびテロリスト金融を阻止するための取り組み

私たちは、詐欺、資金洗浄、贈収賄、汚職およびテロリスト金融等の経済犯罪を阻止するための BNP パリバ・グループの取り組みに積極的に参加し、貢献する責任があります。このため、社員の皆さんは次のことを行わなければなりません。

- > 状況や関与している利害関係者の如何にかかわらず、詐欺、資金洗浄およびテロリスト金融を含むあらゆる形態の経済犯罪との戦いにおいて、注意を怠らず、積極的に貢献すること
- > 顧客のことを良く知り、顧客が BNP パリバ・グループの商品およびサービスをどのように利用するのかを理解するため、適切なデューデリジェンスおよび顧客管理を確実にすること
- > 顧客の取引が、贈収賄または汚職と関係がないか十分に警戒すること。疑わしい活動は、当社のシニアマネジメントまたはコンプライアンス部に報告すること

私は、BNP パリバ・グループが事業活動している国の関係に近い公務員が、銀行口座に多額の金員を受け取ったことに気がつきました。彼は、この金員の受領の趣旨について私に説明してくれましたが、私は、いまだこの取引を疑っています。どうすべきでしょうか？

あなたは、提供されている証拠が十分に説得力があるか否かを確認するため、この取引をコンプライアンス部に報告すべきです。証拠に十分な説得力がない場合、疑わしい取引の報告書を作成し、関係当局に提出することが必要になります。

私の顧客の一人が、取引禁止措置の対象である国に居住している人に米国ドルで送金しようとしたのですが、社内で差し止められました。数日後、同じ顧客が、同じ金額を同じ人に送金しようとしたのですが、今回は、金融制裁の対象ではない国にある別の住所宛でした。私は、何かする必要はあるのでしょうか？

はい。回避行為に関する報告を直ちに Group Financial Security に行い、過去に類似の取引が行われていないかを確認するため、この顧客の口座の履歴を調べる必要があります。

今朝、顧客の一人が制裁（武器の禁輸）下にある国への武器の輸出のための支払保証状を発行するよう求めて来ました。私はどうすべきでしょうか？

あなたは、この取引をお断りし、コンプライアンス部に報告すべきです。

3 マーケット・ インテグリティ

公正かつ健全な市場は、効率的で成長する経済にとって不可欠なものです。BNP パリバ・グループは、市場の健全性を維持し保護することにコミットします。市場での公正な競争を阻害する行為はみとめられません。BNP パリバ・グループは、責任、誠実および健全を重視する社内文化を築き、顧客の利益に奉仕することを優先課題としています。

市場濫用ルールの遵守

BNP パリバ・グループのすべての社員は下記の事項を守らなければいけません。

- > インサイダー取引に関するルールを含む市場濫用に関するルールを完全に遵守すること
- > 市場濫用の可能性を発見し報告することに積極的に取り組み、顧客および市場が害されるリスクが最小になるように努めること
- > 市場および顧客の秘密情報およびデータを保護し、虚偽または誤解を招く情報を伝えないこと
- > 情報障壁(「チャイニーズ・ウォール」に関する内部規程および手続)を遵守すること
- > インサイダー情報を濫用しないこと
- > 市場価格(市場インデックスおよびベンチマークを含む)を、市場の需要と供給を反映していないレベルに誘導する意図をもって、行動しないこと
- > 利益を得る、または、損失を回避するために、資産や負債の時価評価額を過大または過小に変更しようとする試みに加担しないこと
- > 市場の円滑な機能を害する恐れのある行動を避けること。常に誠実に取引し、市場の安定性、流動性および透明性に寄与すること

自由かつ公正な競争の促進

BNP パリバ・グループは、自由かつ公正な競争を推進することにコミットします。これは、私たちが次のことを行うことを意味します。

- > BNP パリバ・グループが事業活動をしているすべての国の競争法を遵守すること
- > 倫理上問題のある行為または違法な行為により競争上の優位を得ようとするしないこと
- > 常に市場の規制当局と協力すること
- > 顧客、サプライヤーや販売会社とのビジネス上の関係において、公正かつ誠実に行動し、また、疑問のある時は、法務部またはコンプライアンス部に助言を求めること



? 顧客が、当社の別の大口顧客の
売買注文の内容について質問をしてきました。
どのように回答すべきでしょうか？

顧客または取引相手方の意図や取引の内容に関する情報を漏らすことは、厳に禁止されます。

利益相反の適切な管理

BNP パリバ・グループは、複数のビジネス・ラインを通じて多くの国の顧客に

サービスを提供しているグローバルな金融機関です。BNP パリバ・グループに生じる可能性のある利益相反を適切に管理するためには、次のことを行うことが肝要です。

- > BNP パリバ・グループに利益相反が生じ得る状況の特定、管理および開示に積極的に取り組むこと
- > BNP パリバ・グループのために取引を行う約束を行う前にまず、BNP パリバ・グループに利益相反が生じないことを確認すること



? ある顧客が、企業買収を行うための買収資金の融資に参加するよう求めて来ました。しかし、一方で、CIB部門の同僚が、同じ案件で当該顧客の競合相手にアドバイスをしています。私は、この融資案件を進めることができますでしょうか？

あなたは、本案件を、BNP パリバ・グループの利益相反管理委員会に報告すべきです。あなたは、すべての融資案件を進める前および顧客に情報を開示する前に当社が利益相反の状況にないことを確認する必要があります。

? 私は、会議中、非公開の情報を耳にしました。それは私の友人が保有している株式に悪影響を及ぼす可能性のあるものでした。私は、友人に損をさせたくありませんし、私自身はその情報に個人的な経済上の利害関係はありません。私は、友人に秘密裏にその情報を教えてもよいでしょうか？

いいえ、あなたは友人とその情報を共有すべきではありません。有価証券に関する重要な非公開情報を持っている場合、それを別の人に教えるのは、インサイダー取引として法令に違反する可能性があります。

4 職業上の倫理

社員の一人一人が、誠実であり、高い倫理観を持つことは、BNP パリバ・グループの行為規範が前提とする要件です。本章のルールは、皆さんの一人一人が、最高水準の誠実さと職業的倫理観を常に持つようにして頂くことを目的としています。

個人的な取引においてインサイダー情報を使用しないこと

BNP パリバ・グループのすべての社員は、次のルールを遵守しなければなりません。

- 業務上知り得た関連する秘密情報を持ちながら、個人的な証券取引および金融取引を行わないこと
- 秘密情報を、家族や親しい関係にある者に開示しないこと
- 個人の口座での証券取引および金融取引に関する BNP パリバ・グループの内部規程を遵守し、個人取引についての制限を尊重すること

また、職務の性質上 MNPI(重要な非公開情報)を受領する可能性が高い社員は、「センシティブ」な社員とみなされ、次の事項を守らなければなりません。

- 個人取引に関し適用される制限を確実に理解すること
- 金融商品に係る個人取引をすべて開示すること

社外活動における利益相反の回避

職業上の倫理の対象範囲には、BNP パリバ・グループの外で行われる活動も含まれます。このため、私たちは、次のことに注意する必要があります。

- BNP パリバ・グループ外での仕事について常に事前承認を求め、新しく入社する者は、既存の業務を開示すること
- A BNP パリバ・グループ外の活動⁵で、当社の評判を危険にさらす可能性があるか、利益相反の問題が生じる可能性があるものについては、常に開示すること
- 事前の正式の承認なしに、個人の活動に BNP パリバ・グループを関与させないこと
- 社外活動に関する BNP パリバ・グループの内部規程を遵守すること

? 私の自動車の買主は、私が BNP パリバ・グループに勤務していることを知り、自分の購入資金の調達に便宜を図るよう、私に協力を求めて来ました。どうすべきでしょうか？

あなたは、利益相反を伴う状況に自らを置いてはいけません。従って、あなたは、買主の資金調達を助けるべきではありません。むしろ、あなたは、その人の住まいに近い当社の支店を買主に教えるべきです。なお、その支店があなたの職場である場合、あなたは上司と相談する必要があります。

? 私のパートナーは研修サービスをを行う会社を営んでおり、BNP パリバ・グループに、社内研修プログラムに関する提案書を提出しました。これは問題ないでしょうか？

あなたのパートナーは、BNP パリバ・グループに提案書を提出することができます。利益相反の可能性を排除するために、自分のパートナーであるという事実を、あなたの上司および調達チームに開示すべきでしょう。あなたのパートナーの提案書は、当社の通常の調達手続に従って検討されることとなります。あなたは、その手続に関わることはできません。

⁵ 労働組合の活動は除きます。



? これまで数ヶ月間、私は、当社の一部のサプライヤーを担当してきました。私は、顧客向けイベントのケータリング会社として、入札を行った後、Cateres & Co を選びました。私は、自分の子どもの結婚パーティのためにケータリング会社を選ぶ必要があります。どうすべきでしょうか？

利益相反を生じさせる事態を避けるために、あなたは個人的な問題と業務上の問題を明確に区別する必要があります。Caterers & Co との関係は、業務上の関係から始まったものです。このため、あなたは、個人的にこのケータリング会社を利用することを控えるべきです。

? 現在私が経済的に困難な状況にあることから、顧客の一人が、私に資金を貸し付ける提案をしてくれました。私は、彼を信頼していることから、その提案を魅力的に感じています。私は、もちろん借り入れた資金を彼に返済するつもりです。私は、顧客からの提案を受け入れてよいのでしょうか？

受け入れてはいけません。これは、利益相反の問題となります。あなたは、その申出を断り、別の解決策を探すべきです。

? 私は、BNP パリバ・グループの仕事のほかにインターネット・ビジネスを開始し、その会社の経営者になりたいと思っています。これは許されるでしょうか？

あなたは、BNP パリバ・グループの明示的な承認なしに、他の事業の経営者または取締役になることはできません。あなたは、BNP パリバ・グループに正式に照会し、当該会社の中でのあなたの役割・仕事の内容等について詳しく伝える必要があります。この事前承認の際に、利益相反が存在するか否か等が検討されることになります(地理的な場所、あなたの当社での職務、ビジネスの内容等がレビューされます)。承認が出れば、人事部の担当者により、(他の社外活動と併せて)あなたの役割・仕事の内容等がデータベースに登録され、人事ファイルに含まれることになります。

贈収賄および汚職の防止についての取り組み

贈収賄および汚職は、その形態および状況の如何にかかわらず、BNP パリバ・グループにとってまったく受け入れられないものです。BNP パリバ・グループおよびすべての社員にとって、贈収賄および汚職は、決して容認できない行為であり、その防止のために積極的に取り組む必要があります。このため、私たちには、以下の義務があります。

- > 違法な手数料を直接的にも間接的にも唆したり、申し出てはいけません
- > 相手方(対象者)の行動に影響を及ぼす可能性のある不適切な取引上の利益を約束し、提供し、または(あなたが対象者の場合)受け入れてはいけません

そこで、BNP パリバ・グループのすべての社員は、贈答および接待に関する当グループの内部規程を遵守する必要があります。次の事項を守らなければなりません

- > BNP パリバ・グループが事業活動をしている国毎に詳細に規定する、当グループの内部規程における制限および禁止事項を遵守すること
- > 贈答または接待の受領または提供が合法であることを確認すること
- > グループの内部規程の例外については、すべてコンプライアンス部からの承認を得ること
- > 定められた合理的な金額を上回る贈答または接待については、コンプライアンス部に申し出ること



? 私の長年の顧客が、売切れになっている有名な娯楽イベントのチケットを提供してくれると言っています。私は、このチケットを受け取ることができるのでしょうか？

あなたは、接待等を受けるための基準を詳細に規定しているBNP パリバ・グループの贈答および接待規程を参照すべきです。それでも不明な場合には、上司またはコンプライアンス部と相談すべきです。

5 同僚の尊重

BNP パリバ・グループは、すべての社員が公平、公正に扱われ、あらゆる状況でプロフェッショナルらしく行動し、互いに高め合い、やりがいを感じる職場を作ることに真摯に取り組んでいます。

プロフェッショナルとして最良の行動をすること

私たちは、BNP パリバ・グループの社員として、職場の同僚に対してプロフェッショナルとしての自覚と責任感をもって行動する責任があります。そのためには下記の事項を守らなければなりません。

- BNP パリバ・グループの社員のプロフェッショナルとしての職務に関し、経営陣により制定され、または、発せられるグループの内部規程、手続およびその他の指示を認識し、遵守するよう積極的に努めること
- 職務上課せられる守秘義務のルールを常に尊重すること
- 同僚に敬意をもって接すること
- 同僚との関係が常にプロフェッショナル意識をもった効率的なものとなるよう努めること
- 同僚の意見は、自分の意見と違うものであっても、耳を傾け、考慮すること

? マネージャーおよびリーダーとして

社員がとるべきよい行動を組織内で推進するにはどうすればよいでしょうか？

あなたは、自分自身が最高の倫理基準に沿って行動し、模範を示すことによりチームを導くべきです。また、オープンで誠実なコミュニケーションのできる職場環境を作り、チームミーティングで、業務上の意思決定における倫理的で誠実・健全な議論の必要性を強調すべきでしょう。社員が報復を心配することなしに、懸念事項について話せることを十分理解してもらうことも重要です。

? 私は、ある部署のマネージャーですが別の部署の担当業務に関し問題と思われる話を聞きました。それは自分の所管事項ではありません。私の懸念事項を社内で報告すべきでしょうか？

法令、諸規則または行為規範に違反する可能性がある行為については、マネージャーを含む当社の社員全員が、懸念を報告する責任があります。懸念をあなたの上司に伝えて下さい。それが難しい場合は、コンプライアンス部に報告するか、内部通報制度を利用して下さい。あなたの報告が善意かつ誠実に行われる限り、あなたが制裁や報復を受けることはありません。

あらゆる形態の差別の否定

BNP パリバ・グループは、すべての社員が敬意と尊厳をもって取り扱われる、よい職場環境を創り出し維持することに取り組んでいます。他の社員を尊重するためには、私たちは BNP パリバ・グループ内の如何なる人も差別してはいけません。そのため、BNP パリバ・グループのすべての社員は、下記の事項を守らなければなりません。

- 採用にあたっては、候補者の公正な取扱いに努め、常に、客観的に評価された能力とスキルに基づいて採否の判断を行い、機会の均等を確保し、公平かつ公正に報酬条件を決定すること
- 他の社員、顧客その他 BNP パリバ・グループと関係があるあらゆる人に対し、人種、肌の色、信条、宗教、国籍、民族、出自、年齢、性別、性的傾向、婚姻の有無、心身の障害または政治的意見等の要素に基づいたあらゆる形態の差別、いじめ、ハラスメントを行わず、それを容認しないこと
- セクシャル・ハラスメントは行わず、また、そのように解釈されかねない行動も慎むこと。「セクシャル・ハラスメント」とは、女性および男性の尊厳を害する性的な意味・趣旨を持つ行為であって、それを受ける側が望まず、我慢できず、不適切で侵害的と考えられるもの、かつ、脅迫的、敵対的、不安定または侵害的な職場環境を生み出すものをいいます



? 私は、ある同僚が、別の同僚に関し人種差別的な言葉を使っているのを聞きました。どうすべきでしょうか？

その同僚に直接懸念を伝えてかまいませんが、それが難しい場合は、上司や人事部に報告するか、内部通報制度を利用すべきです。見て見ぬふりをするこのの方が簡単に思えるかもしれませんが、互いに尊重し、協力し合う職場環境を作ることは、私たち全員の責任です。

? 私の同僚が、別の同僚に対し、不適切な性的な発言をしているのを目撃しました。どうすべきでしょうか？

私たちは、社員のすべての尊厳が尊重される職場環境を作り、維持するための役割を担っています。それは、差別やハラスメントの被害者が、その苦情が無視されたり、軽微なものと同扱われたり、報復を恐れることがない職場環境です。その同僚に直接あなたの懸念を伝えてかまいませんが、それが難しい場合は、問題を上司に報告し、人事部に助言を求めらるべきです。

職場の安全の確保

BNP パリバ・グループは、職場の安全確保を重要課題と考えています。そのためすべての社員は、次のことをしなければなりません。

- 日常的に、安全で安心できる職場作りに参加し、関連する BNP パリバ・グループの内部規程を遵守すること
- あなたがマネージャーの場合、チームの労働条件を改善するため努力すること
- BNP パリバ・グループの施設内で、業務に従事している社員または外部の方の物理的安全が脅かされる可能性がある場合、直ちにそれを報告すること

6 グループの利益 の保護

私たちは、BNP パリバ・グループの事業が長期的に存続することを確保し、支えていく義務があります。BNP パリバ・グループは、長期的な観点に立った健全な経営を続けることを目指し、自ら、株主および社会の利益のために、グループの安定性を継続的に強化していく必要があります。

BNP パリバ・グループの長期的な価値の構築および保護

BNP パリバ・グループの長期的な価値を築き、それを守っていくためには、次のことが不可欠です。

- > 有形資産、技術資産、知的財産、金融資産等 BNP パリバ・グループのあらゆる資産、BNP パリバ・グループの名声、ブランドおよび顧客関係を保護することに取り組むこと
- > そのような資産が、意図的であると過失であるにもかかわらず、他人の利益のために不正に利用されることを防ぐこと
- > BNP パリバ・グループのブランドおよび名声を守るために、常に長期的な成功を短期的利益に優先させること

コミュニケーションにおける責任

私たちには、常に責任をもってコミュニケーションを行うという重要な義務があります。それは次のことを意味します。

- > BNP パリバ・グループに関する事項を外部に向けて話す際には、当社の名声を危険にさらさないよう注意する
- > デジタルツールおよびソーシャルメディアの使用に関する BNP パリバ・グループの内部規程を遵守する

BNP パリバ・グループの情報の保護

あらゆる状況において、BNP パリバ・グループの情報を保護することは極めて重要です。BNP パリバ・グループは、常時、大量のセンシティブなデータを受け取っていますが、それは、戦略的な資産の一つであり、事業活動にとって不可欠なものです。新しいデータ管理・処理の技術(例:クラウド、ビッグデータ)およびデジタル・アプリケーション(ソーシャルネットワーク、電子メール等)の使用は、サイバーセキュリティ・リスク等の新しい種類のリスクをもたらします。BNP パリバ・グループは、そのようなリスクおよびデータの完全性を害する脅威に対応できるよう準備しておかなければなりません。

このため、BNP パリバ・グループのすべての社員は、下記に従う必要があります。

- > 最高の情報セキュリティ基準を遵守すること
- > 顧客、社員、当社およびその他の者に関するすべての秘密データおよび情報を保護し、安全にすること
- > オンライン・データを含むそれらのデータについて、常に、慎重かつ適切な使用、アクセス、保存、開示、移転および削除を行うこと

? メディアの記者が、電話で BNP パリバ・グループの活動に関する質問をしてきました。どうすべきでしょうか？

メディアからの照会はすべて、コメントせず、広報部に回して下さい。また、BNP パリバ・グループの社員として、マスコミに出る場合、または外部で講演をする場合には、上司および広報部の承認を得る必要があります。

対外的に倫理的に行動すること

BNP パリバ・グループの利益を守るためには、外部との関係でも倫理的に行動することが必要です。そこで、私たちには下記の責任があります。

- BNP パリバ・グループのサプライヤーについて、当グループとサプライヤーとの双方に利益がある関係の構築に努め、そのサプライ・チェーンにおける倫理的な行動を促し、相互依存がもたらすリスクを防ぐこと
- サプライヤーに係る BNP パリバ・グループの内部管理、内部規程および手続を遵守すること

適切にリスク管理を行いつつ、責任をもってリスクをとる

リスクの認識、管理およびコントロールは、BNP パリバ・グループの利益を守るために極めて重要です。担当の委員会(例: 与信リスク委員会、NAC(新商品・新ビジネス承認委員会)等)が正式な決裁プロセスを経て、最善の意思決定を行います。加えて、社員の誰もが、それぞれの職責に応じてこの問題につき責任ある行動をとらなければなりません。その責任は次のような内容です。

- コンプライアンス、詐欺行為の防止、リスク管理および内部管理に関する BNP パリバ・グループのベスト・プラクティスに沿って行動する
- 日常業務から生じるリスクを予測するため、あらゆる努力を行う
- 顧客および金融システム全体を守るために、リスク管理を徹底的に行う
- 意思決定または約束を行う際には、当グループの全組織に存する、強力な、共有されたリスク文化に基づいた、協働的プロセスを理解し、それに従う
- リスクと成果を積極的にモニターし、その均衡に配慮する

? 私は、当社のサプライヤーの管理職が、贈収賄スキャンダルに巻き込まれていることを報道で知りました。

どうすべきでしょうか？

あなたは、この問題を上司および調達チームに直ちに報告すべきです。BNP パリバ・グループのサプライヤーは、当グループと同じ倫理基準に服します。調達チームがその問題を既に知っており、当該サプライヤーを調査している可能性もありますが、当グループを守るため、調達チームがそうしていない可能性も想定して、報告して下さい。

BNP パリバ・グループを退職する際の責任

BNP パリバ・グループを退職する際は、すべての社員は BNP パリバ・グループおよび顧客に対し次の責任を負います。

- BNP パリバ・グループを退職し、去る際には、BNP パリバ・グループに属する情報(データ、ファイル、文書等)を、外部に持ち出してはなりません
- BNP パリバ・グループを去った後、BNP パリバ・グループに属する文書を持ってはいけません
- 不正競争を防止するための BNP パリバ・グループの内部規程および個人として負う義務を遵守しなければなりません

? リスク・エクスポージャーが高い、通常ではない取引について、同僚は、社内のエスカレーションは必要でないといいますが、私は同意できません。私は、どうすべきでしょうか？

当社には、より厳密な検討を行う必要のある取引かどうかを判断し、慎重な対応ができるよう、あなたをサポートする基準および手続があります。通常でない取引、リスクが高い取引は、豊富な経験を持つ社員により構成される承認委員会に付託されます。同委員会は、BNP パリバ・グループとその顧客を守る観点から取引を検討します。BNP パリバ・グループは、社員がリスクに対する慎重さを持つことを奨励します。疑問がある場合、あなたは常にそれを指摘すべきです。取引について社内のエスカレーションが必要と思う場合、あなたはその案件を上司および関連する内部管理部門に報告しなければなりません。あなたが懸念を伝えることは、取引がさらに検討され、時間を要することを意味します。しかし、それは、BNP パリバ・グループと関係者全員の利益を守ることに貢献します。

7 社会との関わり

BNP パリバ・グループは、責任ある持続可能な社会のグローバルな発展に貢献し、ステークホルダーおよび社会全体にポジティブな影響を及ぼしたいと考えています。本章は、BNP パリバ・グループがこの目標を達成するために、すべての社員が遵守すべきルールおよび要件について述べます。

人権の尊重

BNP パリバ・グループは、その影響が及ぶ範囲内、すなわち、社員、サプライヤー、顧客および BNP パリバ・グループが活動しているコミュニティにおいて、人権の尊重に努めます。特に、BNP パリバ・グループの融資活動または投資活動を通じて、人権の侵害に関わることは、BNP パリバ・グループの望むところではありません。BNP パリバ・グループの社員は、人権の尊重を支持し、特に下記のことを励行して下さい。

- > その活動がグローバルな人権問題に直接・間接に及ぼし得る影響を常に考えること
- > CSR(企業の社会的責任)と投融資に関する社内規程が対象とする事業分野の案件に関わる場合、関連する会社やプロジェクトが人権に及ぼす影響に関し、規程に定められた基準を遵守すること

? 私は、顧客である商品
商社から連絡を受けま
した。同社は、綿花の世界
10大生産国の一つから綿花を
輸出することを望んでいます。
この国は、2010年にNGOお
よび国際機関(UNICEF、ILO
および ECCHR 等)から、綿
花の収穫時期に強制労働お
よび児童労働を行っている
と非難されました。私は、どうす
べきでしょうか?

BNP パリバ・グループは、人権侵害に加担する危険性があるケースには、非常に慎重です。この案件に関して述べると、BNP パリバ・グループは、収穫期に強制労働をさせたとして、この国の綿花に関し融資を停止することを既に決定しています。この取り組みは、2012年に発表されたBNP パリバ・グループの人権に係る声明の作成を加速しました。従って、あなたはこの取引を断るべきです。

環境保護および気候変動対策

BNP パリバ・グループは、銀行業務から間接的にもたらされる、また、そのオペレーションから直接生じる、環境への影響を限定するための取り組みを行っています。その中でも、BNP パリバ・グループは、気候変動対策を優先分野と位置付けており、低炭素経済社会へ移行するための資金の提供にコミットしています。私たちは、下記の事項を重視する必要があります。

- その活動がグローバルな環境に直接・間接に及ぼす影響を常に考慮すること
- CSR(企業の社会的責任)と投融資に関する社内規程が対象とする事業分野の案件に関わる場合には、関連する会社やプロジェクトが環境に及ぼす影響に関し、規程に定められた基準を遵守すること
- 日常のオペレーションの環境への影響を削減する目的で BNP パリバ・グループが設定した目標を達成するために、積極的に貢献すること

公的機関の活動に対する責任ある対応

BNP パリバ・グループは、民主的な意思決定プロセスに建設的な貢献を行うため、政府・政治家等の政策立案者に対し、法令および倫理上のルールを厳格に遵守しつつ、その議論をサポートし、かつ、その決定が公正かつ十分な情報に基づいてなされるように、情報提供を行うことがあります。

このように、私たちは、政府当局との関係でも責任をもって行動する義務があります。



? 私は、パームオイルの製造会社から、アフリカにおける新たなビジネスの計画に資金を提供してほしい旨連絡を受けました。同社は、極めて広範な CSR(企業の社会的責任)に関する表明を行っていますが、有名な国際的 NGO から森林破壊を非難されています。どうすべきでしょうか？

パームオイル業界は、当社の投融資に関する CSR 規程の対象になっています。このため、あなたは、CSR チームに、同社が CSR(企業の社会的責任)の観点からどのように評価されるのか確認してもらう必要があります。BNP パリバ・グループのパームオイル業界に係る社内規程は、森林破壊の問題に関し、極めて厳格な立場を取っています。パームオイル製造会社が、UNESCO の世界遺産サイト、IUCN カテゴリーI~IV の地域またはピーランド(泥炭地)等の問題がある地域で新たな油ヤシのプランテーションを開発しているとしたら、同社に融資することはできません。また、同社は、高度保値評価を実施するための社内規程を実施している必要があります。この会社と取引を行う前に、こうした情報の他、この分野に係る BNP パリバ・グループの社内規程が定めるその他の基準を満たしているか否かの検証を行うことが必要となります。

C 行為規範の 実践

行為規範は、BNP パリバ・グループのすべての社員が、その職責を果たす上で何をすべきかを明確に定めています。

年次の人事評価は、マネージャーが「バリューを具体的に実践する」ことの重要性を強調し、行為規範に記載されている適切な行為・行動について具体的にチーム・メンバーと話し合うよい機会です。

また、そのような行為・行動は、BNP パリバ・グループおよび規制当局が期待する「一般的な倫理基準 (general ethical standards)」を、社員に対しより明確で透明性が高い形で示すものといえます。

BNP パリバ・グループのすべての社員のために開発され、提供される行為規範に係る研修モジュール (e ラーニング) は、行為規範で定める優先事項に関し、社員がそれぞれの役割と責任を果たせるようサポートします。

BNP パリバ・グループのすべての社員には、下記の義務があります。

- > 行為規範中のすべての行為基準を理解し、遵守すること
- > 各自の責任を理解するため、それぞれに義務付けられた研修をすべて受講すること
- > 各自の職責のすべてにおいて、行為規範に則ってそれを果たすこと
- > 他の社員が行為規範の精神に則って行動しているか否かに注意を払い、行為規範の精神に従っていない場合は是正のための適切な対応を行うこと
- > 必要な場合、懸念を伝えるため、BNP パリバ・グループの内部通報手続を利用すること

BNP パリバ・グループは、バリューを具体的に実践し、行為規範に従って業務に励む人々を評価し、それに報います。他方、BNP パリバ・グループは、行為規範に違反する行為を容認しません。行為規範を遵守しない社員に対しては、適用される法令諸規則および BNP パリバ・グループの人事に係る社内規程に従って、厳正な措置・処分を行いません⁶。

⁶ フランスでは「Reglement Interieur de BNP Paribas SA」も含まれます。

意思決定を行うとき

行為基準は、あらゆる意思決定の指針となりますが、あらゆる状況に適用できる基準はありません。最終的には、正しい決定を行うことは、BNP パリバ・グループのバリューに基づく個人的な健全な判断にかかってきます。行おうとしていることが、BNP パリバ・グループのバリューに合致しない時は、なぜその行動をとらなければいけないのかを自問すべきです。

行動する前に自問すること



これらの質問への答えがひとつでもノーである場合、行動を中止し、疑問の声を上げるべきです。

もし何らかの懸念または疑問があるときは、あなたの上司、シニアマネジメント、法務部またはコンプライアンス部のガイダンスを求めて下さい。

行為規範は、 現地の法令および 国際的な法令に どのように適合 するか？

A BNP パリバ・グループのすべての社員は、国際的な基準を十分理解し、すべての分野の適用法令、諸規則およびそれぞれの専門的な活動に適用されるプロフェッショナルに関する基準を遵守することが求められます。

私たちが働く金融業界は、金融システムの安定性を確保する観点から、厳しく規制されています。BNP パリバ・グループの活動の基本である法令および諸規則を認識し、遵守することは、私たちの業務の重要な部分ですが、同時に私たち自身のあり方の根幹でもあります。私たちは、法令の文言のみを遵守するのではなく、法令の精神と趣旨を遵守しなければなりません。法を尊重することは、必須事項です。不公正で、詐欺的で、濫用的な行為またはプラクティスを行った場合、それは顧客の信頼に悪影響を及ぼし、BNP パリバ・グループの名声を危険に陥れます。また規制当局による非難、法的措置、罰金、制裁、その他の悪影響を BNP パリバ・グループにもたらすこととなります。

BNP パリバ・グループは、規制当局に常に協力することをコミットします。

あなたの活動に適用される法令および諸規則、または、規制当局に提供する回答に関し質問がある場合、コンプライアンス部、法務部または税務部門に相談して下さい。

行為規範は、私たちそれぞれが期待されていることを示すものです。それは、BNP パリバ・グループがビジネスを行っているマーケットで適用される法令および諸規則のもとで最高水準（最良）の行動をすることです。各国の法令とこの行為規範に含まれている行為基準との間に矛盾抵触がある場合、BNP パリバ・グループは、現地の適用法令を遵守しつつ、行為基準を実施し尊重するための適切な方法を模索します。もし解釈・判断が必要となる場合、最も厳格な倫理的基準に従って解釈・判断を行わなければならないことに注意して下さい。

懸念があるときは、 声を上げる

BNP パリバ・グループは、顧客、サプライヤー、社員、株主および社会一般が持つ懸念については細心の注意を払います。BNP パリバ・グループは、私たちのステーク・ホルダーにより示される懸念を、公正かつ効果的な方法で、傾聴し、理解し、対応します。外部のステーク・ホルダー向けには、(そのグループ毎に)BNP パリバ・グループ内に専用の連絡窓口があり、そこを通じて、懸念を表明することができます。

BNP パリバ・グループの社員として、あなたは、あらゆる懸念または行為基準に違反する可能性のある行為について報告すべきです。行為規範の違反を知ったか、疑う正当な理由がある場合、あなたは次のことを行わなければなりません。

1. あなたの直属の上司に相談し、報告する。
2. 上司と話しをすることが難しい場合、あなたの業務分野のより上位の管理職に相談する。

3. 上記の対応を取ることができない場合、BNP パリバ・グループの内部通報手続に述べられているように、コンプライアンス・オフィサーに連絡し、懸念を伝えるべきです。

4. さらに、必要であれば、問題をプロフェッショナル・エシックス部門の部門長に報告することができます。

内部通報は社員の権利です。いかなる社員も、善意と誠意に基づく内部通報行為により、直接的にも間接的にも制裁や解雇処分を受けることはありません。また、差別的取扱いの対象になることもありません。

管理職 (マネージャー)の責任

管理職(マネージャー)は、自ら模範を示し、最高水準の基準に則って行動すべきです。そして、そのような行動の基準を部下に対し明確に伝え、かつ透明なものにする義務があります。管理職(マネージャー)は、次のことを行うべきです

- > オープンで、正直な、敬意を持ったコミュニケーションを推奨する職場の雰囲気醸成すること
- > 行為規範の文言およびその精神を部下およびその他の同僚に伝えること

> BNP パリバ・グループの方針に沿って、人事評価の一要素に、行為規範を尊重し遵守することを加えること

> 社内の他の者が行う業務に関連するリスクを積極的に理解し、また、部下の仕事の質を高めることに尽力すること

> 守秘義務に関するルールを尊重しつつ、顧客、同僚およびBNP パリバ・グループに関係

るその他の人々と誠実かつ敬意をもったコミュニケーションを行い、自ら模範を示すこと

> 同僚が述べるあらゆる懸念に効果的かつ迅速に対応し、何らかの誤りまたは不適切行為が発見された場合、速やかに是正措置をとること

行為規範: 汚職との闘い

“

追記

目次

- A / 職の防止に関する基本原則 > 34
- B / 贈収賄または利益誘導・供与とみなされる可能性が高い禁止行為 > 35
- C / 贈収賄または利益誘導・供与とみなされる可能性が高い禁止行為に関する解説 > 35
 - 1 贈答および招待 > 36
 - 2 便宜を図ってもらうこと等を目的とする現金の支払い > 36
 - 3 データに関する秘密保持 > 37
 - 4 NPO(非営利団体)への寄付および政党への資金供与 > 37
 - 5 ロビー活動およびスポンサーシップ > 37
 - 6 仲介者、エージェント、サプライヤー、下請け業者および合弁事業パートナーといったカウンターパーティー(取引の相手方)に関連する利益相反ないし汚職行為 > 38
 - 7 カスタマー・リスク、信用リスクおよび訴訟リスク > 39

A 汚職の防止に関する基本原則

BNPパリバにとって、汚職および利益誘導・供与は、どのような状況においても、絶対に許容できないものです。

BNPパリバでは、以下のような汚職を防止しかつ汚職と闘うための措置・方策を設けています。

- 贈収賄および利益誘導・供与の防止を目的とするプログラム
- 定期的に見直しが行われる社内の手続きおよびコントロール
- グループ行為規範と一体になる、このアデンダム(行為規範: 汚職との闘い)の策定
- 各種の社内研修
- 社内の「内部通報」(ホイッスル・ブローイング)制度

BNPパリバおよびすべての社員は、汚職および利益誘導・供与を一切容認せず、それらと積極的に闘わなければなりません。贈収賄を含む汚職行為および利益誘導・供与は全面的に禁止され、社員は速やかに報告する必要があります。これは、BNPパリバの社員が関与する汚職(BNPパリバ・グループの利益のために行うか否かは問いません)のみならず、社員が銀行・金融業務等を通じて顧客またはカウンターパーティー(取引の相手方)の汚職行為を認識した場合も同様です。

そのため、贈収賄および利益誘導・供与を含む汚職行為の防止・発見、さらには、汚職との闘いは、BNPパリバ・グループの倫理綱領(BNP Paribas Group's Ethical Conduct)およびコンプライアンス態勢(広義には、内部管理体制)の不可欠の要素となります。いかなる状況においても、汚職の防止および発見は私たち社員全員の喫緊の課題です。私たちは、汚職行為に関与してはいけなだけでなく、贈収賄および利益誘導・供与を防ぐため、さらに贈収賄および利益誘導・供与行為を認識した場合はそれを阻止するため、職務権限上できることをすべて行うべき職責を負っています。

汚職行為に関与することは職業上の不正行為(プロフェッショナル・ミス・コンダクト)となります。BNPパリバのグループ行為規範に抵触する行為を行う社員は、懲戒処分の対象となります。

BNPパリバは、英国贈収賄法、米国海外汚職行為防止法(FCPA)およびその他の適用法令のみならず、透明性の向上、汚職行為の防止および経済の近代化に関連する2016年12月9日制定の「Sapin II」法も遵守します。

B 贈収賄または利益誘導・供与とみなされる可能性が高い禁止行為

BNPパリバ・グループの社員は、直接・間接を問わず、利益または影響力(それぞれ、実際のものであるか、その存在を疑われるものであるか否かにかかわらず)の見返りとして、個人または第三者に対して便益(金銭的なものであるか否かを問いません。以下、同じ。)を提供すること、その提供を約束すること、その提供を申し出ること、または、個人または第三者に便益の供与を求め、および個人または第三者からの便益の供与を受け入れることをしてはいけません。これらの行為を試みることも厳しく禁じられます。そのような状況の下では、当社の商品やサービスを提案または提供してはなりません。

贈収賄および利益誘導・供与に関する行為は、すべて厳しく禁じられます、特に、以下に関わる贈収賄および利益誘導・供与に注意して下さい。

- ▶ いかなる公務員または私人
- ▶ 当社の顧客、ビジネス・パートナーまたはカウンターパーティー(取引の相手方)
- ▶ 政党
- ▶ ロビー活動組織その他の圧力団体、労働組合、スポーツ連盟、基金、慈善団体等
- ▶ 他の社員またはその上司
- ▶ その友人または家族

金融機関として、当社は、第三者による贈収賄または利益誘導・供与に関する行為に巻き込まれる可能性があります。社員の皆さんは、当社が汚職またはマネーロンダリングのリスクがある取引に関わることをしないよう、十分注意して下さい。

以下に、贈収賄または利益誘導・供与とみなされる可能性の高い行為を例示し、解説します。

社員の皆さんは、フィナンシャル・セキュリティに関する場合はもちろん、いかなる場合も、BNPパリバ・グループの社内規則・手続きに従わなくてはなりません。

C 贈収賄または利益誘導・供与とみなされる可能性が高い禁止行為に関する解説

BNPパリバ・グループの社員は、直接ないし間接に知る取引もしくはその計画、または受け取ったリクエストもしくは注文が、この行為規範に定める(贈収賄、汚職等に関する)原則の一つまたは複数に違反すると判断する合理的な根拠・理由がある場合、できる限り早く上司に報告しなければなりません。

また、社員の皆さんは、「内部通報」(ホイッスル・ブローイング)に関する社内規定・手続きに基づいて、直接、コンプライアンス部門に内部通報することもできます。

1 贈答および招待

贈答および招待に関するBNPパリバ・グループの社内規則・手続きを遵守することは、私たち社員の義務です。金銭またはその他のいかなる支払手段を贈答として受け取ることは禁止されています。

? 私の大事なお客様から「年末のちょっとしたサプライズ」を届けたいから、自宅の住所を教えてくださいと頼まれました。

私の住所を教えることができますか？

いいえ。そのような依頼は断って下さい。そして、あなたの上司に顧客からそのような依頼を受けたことを報告して下さい。

? 私が長年お付き合いしているお客様が、人気があり売切れてしまったショーのチケットを下さると言っています。

受け取ることはできますか？

あなたは、贈答の受け取りの可否について詳細な基準を定めるBNPパリバ・グループの社内規定(ポリシー)を参照すべきです。もし疑問があれば、上司またはコンプライアンス部門に問い合わせして下さい。

? サプライヤーから販売促進用のペンを勧められました。

受け取ることはできますか？

それは状況次第です。サプライヤーのロゴが入った一般的なペンは、わずかな金額の宣伝用品目ですので、受け取ることができます。しかし、贈答としての合理的な価格を超える高級なペンの申し出は断るべきです。そのような場合、あなたが取るべき正しい対応は、贈答の申し出があったが、それを断った旨を上司に報告することです。そうすることにより、コンプライアンス部門に記録を残すことも可能となります。

? 良好な関係を保っている年配のお客様から封筒を手渡されました。

私はどうしたらよいでしょうか？

あなたは、お客様の申し出をお断りしなくてはなりません。当社では、金銭の贈答は禁止されています。直ちにあなたの上司に当該贈答を断った旨を報告して下さい。また、コンプライアンス部門に本件を記録するよう依頼して下さい。

? 年末の行事の時期が近づいて来ています。私が帰宅すると高級時計の箱が置かれていて、「あなたのお気に入りのブローカーより」とのメッセージが付されていました。

私はどうすべきでしょうか？

時計を自宅で受け取ったとしても、贈答が職務に関連することは明らかです。送り主に受け取ることができない旨を説明し、贈答品を丁重にお返して下さい。

2 便宜を図ってもらうこと等を目的とする現金の支払い

BNPパリバ・グループの社員は、行政事務手続きのスピードアップもしくは円滑化を目的として、または、許認可等の取得を目的として、公務員に対して金銭を渡してはなりません。それは、金額の多寡にかかわらず。

社員の皆さんは、いかなる状況であれ、文書により承認されていない現金の支払いや受け取りをしてはいけません。資金の送金には、正当な理由、社内の承認および記録の作成が必要です。

さらに、私たちは、いかなる者に対しても、社内の適切な権限の授与なく、当社の資産を提供したり、利用させることは禁じられています。

? 私の飛行機が予定より4時間遅れて到着しました。多数の乗客が入国手続きのために列をなして、私は重要顧客との会議に遅れそうです。入国管理職員が、紙幣を数枚渡せば待ち時間を短くできるとのヒントをくれました。

私はどうすべきでしょうか？

あなたは、その申し出を断らなくてはなりません。贈賄行為になるかも知れないからです。

? 現在私が経済的に困難な状況にあることから、顧客の一人が、私に資金を貸し付けてくれると申し出してくれました。私は、彼を信頼しているので、その提案を魅力的に感じています。私は、もちろん借り入れた資金を彼に返済するつもりです。

私は、顧客からの親切な提案を受け入れてよいでしょうか？

受け入れてはいけません。利益相反の問題となる可能性があります。また、汚職とみなされるリスクもあります。あなたは、その提案を断り、別の解決策を探すべきです。

3 データに関する秘密保持

私たちは、利益を受ける見返りとして、会社に属する情報を外部に提供・開示することを禁止されます。同様に、利益を得る意図で、プロジェクト、取引、競合他社、第三者等に関する秘密情報の提供を外部に求めることも禁止されます。

+

? 顧客から、当社と取引関係のある別の大口顧客の買い注文または売買高に関する情報の提供を求められました。その顧客は、見返りとして、当社とのビジネスを増やすと断言してくれています。

どのように返答すべきでしょうか？

顧客またはカウンターパーティー（取引の相手方）に関する秘密情報を外部の者に漏らすことは厳しく禁じられます。

? 私は、職務上の目標に全く到達しておらず、次回の自分のボーナスについて心配しています。私にはある官庁に勤務する知人がいるのですが、その官庁において入札手続きがちょうど開始されました。私の最大の顧客がその入札手続きでの指名獲得を希望しているため、私はその知人に連絡を取ろうかと考えています。もし内部情報を得ることができれば、私の顧客が官庁

との契約を獲得できるかも知れません。そうしたら、感謝の印として、お客様が特別にビジネスをくれる可能性があります。

私は、官庁の知人に連絡しても良いでしょうか？

いいえ、できません。利益を得ることを目的として、秘密情報を手に入れようとする行為は厳しく禁じられます。

4 NPO(非営利団体)¹への寄付および政党への資金提供

BNPパリバ・グループの社員は、会社あるいは個人のために不正な利益を得ることを目的として、NPO(非営利団体)に寄付を行ってはなりません。同様の目的のために、当該団体のために働くエージェント、コンサルタント等の第三者に利益を与えることをしてもいけません。同様の制限は、政党との関係でも適用されます。

もし疑問がある場合には、あなたの上司に助言を求めて下さい。

+

? 私の顧客から電話があり、マレーシアで重要な契約を獲得したことを公表できると断言して、喜んでいました。そして、顧客は、現地のNPO(非営利団体)に対しどのように「贈答」できるか知りたくて訊いて来ました。実は、その「贈答」は、契約を発注した国有の会社の代表者からの勧めによるものでした。私は、このNPO(非営利団体)がその国有会社の代表者により

支配されていることを発見しました。

私はどうすべきでしょうか？

この「贈答」は贈答とみなされる可能性があります。あなたは、この「贈答」に関わる取引を進めるべきではありません。直ちに本件をあなたの上司またはコンプライアンス部門に報告して下さい。

? 選挙が近づいています。私の地元の市長は、当社の顧客であり、私がこの地に赴任して来た時になにかと助けてくれました。市長から連絡があり、「お礼として」彼の選挙運動のために寄付してほしいと依頼されました。

私はどうすべきでしょうか？

市長の依頼は断るべきです。なぜなら贈答行為および汚職とみなされる可能性があるからです。

¹ NPOには、慈善団体、基金、連盟、協会等が含まれます。しかし、当社の「企業の社会的責任(CSR)」に関するポリシーに従って行われた決定には、上記は適用されません。

5 ロビー活動およびスポンサーシップ

あなたは、当社がその役職・地位に照らし承認した場合を除き、BNPパリバまたはその資産をロビー活動またはスポンサー活動に関与させることはできません。社員が個人の立場でこのような活動を行う場合、会社等との間で利益相反が生じないようにする義務があります。疑問がある場合には、あなたの上司に相談して下さい。

+

? 私のお客様をBNPパリバがスポンサーを務める国際的なイベントに招待したいのですが、費用の金額が「合理的」な基準を超えたとしても、招待することはできますか？
また、このイベントは、直接的にはビジネスとは関係ありません。

当社のブランドおよびイメージを高めるため、このようなイベントには多くの顧客が招待されます。よって、あなたも顧客を招待することができます。しかし、顧客に無料の宿泊施設や旅費の支弁といったサービスを提供したい場合、事前にコンプライアンス部門の承認を得て下さい。

6

仲介者、エージェント、サプライヤー、下請け業者および合併事業パートナーといった カウンターパーティー(取引の相手方)に関連する利益相反ないし汚職行為

BNPパリバ・グループの社員は、利益相反の防止および管理に関し、BNPパリバ・グループが定めた下記のルールに従わなくてはなりません。

- BNPパリバ・グループの社員は、会社の承認を得ずにカウンターパーティー(取引の相手方)とビジネス上の関係を持つことはできません。個人的な関係に基づいて、仲介者とビジネス上の関係を開始することは、あなたが利益相反行為や汚職に巻き込まれるリスクがあります。
- 当社のカウンターパーティー(取引の相手方)または仲介者に対して支払う報酬は、当社に提供されたサービスに見合うものでなくてはなりません。社員の皆さんは、不適切なレート、手数料または不当な利益を提供してはなりません。
- 下請け契約またはその他の利益を、主たるサプライヤー契約を与えられた者と直接的な関係を有する個人または法人に割り当ててはいけません。
- 公務員または公務員と近い関係を有する個人がコントロールする(直接・間接を問いません)現地の企業と交渉を行うべきではありません。
- 契約書については、当社の標準的な型のみを使用して下さい。
- 担当社員は、カウンターパーティー(取引の相手方)においてBNPパリバ・グループが策定し、適用している汚職の防止に関するポリシーと同様のポリシーを適用していることを確認し、関連する契約に当社の監査権限に関する条項および汚職等の問題行為があった場合の解約条項を含めるようにしなくてはなりません。
- 諸外国における公的な調達契約の中には、現地のマーケット等に精通したエージェントまたは当該外国の官庁により指定された仲介者を通じてしか交渉に臨むことができないものがあります。
そのようなケースで、手数料、費用またはロイヤリティ(仲介者により徴収される)につき、1) 調達契約を結ぶ法人が設立された国もしくは所在する国または契約が締結された国と異なる国に所在する銀行口座を通じて、または、2) 第三者が名義人である銀行口座または租税回避地もしくは高度の銀行機密保持義務が存在する国において開設された銀行口座を通じて、資金の移動が行われる必要がある場合には、当社は当該手数料、費用またはロイヤリティ(仲介者により徴収される)を支払うことはできません。あなたは資金の送金を行うことをできませんし、すべての支払いとすべての送金の目的について調査・確認をしなくてはなりません。

一定のビジネス分野において準独占状態を享受している現地の企業が、外国投資家に現地の特定の下請け業者または仲介者とビジネスを行うよう強要する場合、当社は、その事業に関連する資金の流れに関与することはできません。

また、当社は仲介者が得たマージンが短期間に変更される場合には、その事業に関連する資金の流れに関与することはできません。

さらに、あなたは、商品またはサービスの価格が市場価格よりも異常に高い場合、仲介者の役割が明確でないか、著しい価値の付加がないときは、その事業に関連する資金の流れに関与してはいけません。



? 私は社内研修プログラムを担当し、現在、社内研修を行う会社の選定に関わっています。私のパートナーは、研修サービスを行う会社を経営していて、BNPパリバ・グループに、社内研修プログラムに関する提案を行いました。

これは問題ないでしょうか？

あなたのパートナーはBNPパリバ・グループに対して提案書を提出することができます。利益相反行為または汚職とみなされる可能性を避けるため、あなたは、自分のパートナーが提案しているという事実を、上司および調達チームに開示すべきです。あなたのパートナーの提案書は、当社の正式な調達手続に従って検討されることになります。あなたは、その手続に関与することはできません。

? これまで数ヶ月間、私は、当社のサプライヤーを多数担当して来ました。私は、顧客向けイベントのケータリング会社として、入札を行った後Traiteurs & Coを選びました。

私は、自分の娘の結婚パーティのためにケータリング会社を選ぶ必要があるのですが、Traiteurs & Coが費用につき多額のディスカウントをオファーして来ました。

どうすべきでしょうか？

利益相反を生じさせる事態また汚職とみなされる行為を避けるために、あなたは個人的な問題と業務上の問題とを明確に区別する必要があります。Traiteurs & Coとの関係は、業務上の関係から始まったものです。このため、あなたは、個人的な目的でこのケータリング会社を利用すべきではありません。

? 当社のサプライヤーである会社の社長が汚職事件に関与したとの報道が新聞に載りました。

私はどうすべきでしょうか？

あなたは、この問題を上司および当社の調達部門に直ちに報告すべきです。BNPパリバ・グループのサプライヤーは、当グループと同じ倫理基準に従うことが期待されています。調達部門がその問題を既に知っており、当該サプライヤーを調査・検討している可能性もありますが、当グループを守るため、調達チームがそうしていない可能性も想定して、報告して下さい。

7 カスタマー・リスク、信用リスクおよび訴訟リスク

その地位および影響力に鑑みると、重要な公的地位にある者(Politically Exposed Persons or PEPs)、官僚(およびその側近)ならびに一定の重要な権限を付与された公務員(それぞれ日本国民であるか外国人であるかは問いません)は、特に高いリスクを当社にもたらす可能性があります。同様のリスクは、政党、労働組合および専門機関、スポーツ団体ならびに慈善財団または文化基金についても存します。よって、私たちは、このような相手方・団体に対しては、ビジネス上の関係が長く全期間を通じて、適切なレベルの注意を払うことを怠ってはならず、当グループのフィナンシャル・セキュリティ手続きの一環として定められた管理態勢に従って、行動しなければなりません。

BNPパリバ・グループの社員は、不当な利益提供の見返りとして、融資、商品またはサービスの提供を行うこと、訴訟手続きを終了させることを禁じられます。新規顧客の紹介へのお礼として行われるものを含み、当グループ外の第三者への商業的・経済的な対応は、当グループの社内規定(ポリシー)で許容されるものであるか、または、上司の承認を得たものでなくてはなりません。

+

? 私のプライベート・バンク業務のお客様で、富裕層の個人がいますが、その方は重要な公的地位にある者(PEPs)です。いつも会計士がその方の代理を務めているため、私は実際にお客様に会ったことはありません。ある日私は、プライベート・ジェット機のローンの返済金として5万ユーロの支払いをするよう求められました。私は、この資産について認識していません。会計士には連絡がつきません。さらに情報を入手しようとしている間に、私は、そのジェット機がケイマン諸島に登録された会社が所有していることに気づきました。

私はどうすべきでしょうか？

あなたは直ちに上司またはコンプライアンス部門に本件を報告しなくてはなりません。

? 私は、BNPパリバ・グループが事業を営んでいるある国の大臣と近い公務員の銀行口座に多額の金銭が振り込まれたことに気がつきました。彼は、その取引の目的を説明してくれましたが、私は未だ疑いを抱えています。

私はどうすべきでしょうか？

あなたは、この取引を上司またはコンプライアンス部門に報告し、提出された書類等が十分に説得力を有するか否か確認すべきです。もし十分な説得力がない場合、疑わしい取引の報告書を作成し、関係当局に提出しなければなりません。

? 今朝私のお客様の一人から電話があり、預金を受け入れてほしいと依頼されました。しかし、資金の出所は説明してくれませんでした。また、この預金に伴って与信限度額を引き上げてほしいとのリクエストを受けました。

私は、どうすべきでしょうか？

あなたはそのリクエストをお断りし、コンプライアンス部門の担当者に連絡すべきです。

? 地元の自治体で都市計画の見直しが行われているのですが、選挙により選ばれた自治体の公務員である当社の顧客の銀行口座に不自然な支払いがなされていることに気づきました。

私はどうすべきでしょうか？

利益誘導・供与が行われている可能性があります。あなたは、コンプライアンス部門に報告すべきです。

? 私の自動車の買主は、私がBNPパリバ・グループに勤務していることを知り、自分の購入資金の調達(融資)に協力してほしいと言って来ました。買主は、その見返りとして、自動車を高い金額で購入すると申し出ています。

どうすべきでしょうか？

あなたは、利益相反を伴う状況または汚職とみなされる状況に自らを置いてはいけません。従って、あなたは、買主の資金調達を助けるべきではありません。むしろ、あなたは、その人の住まいに近い当社の支店を買主に教えるべきです。なお、その支店があなたの職場である場合、あなたは上司と相談する必要があります。

? 私のお客様で、一定の権限を持つ公務員がいます。私は、そのお客様の銀行口座に定期的に数か月分の給与の額を超えらると思われる金額が振り込まれていることに気づきました。

送金は、当社に銀行口座を持つ彼の友人、家族または第三者から行われています。通常は、これらの振込の直後に彼が所有する会社に対して概ね同金額の出金が行われます。彼は、彼の家族および友人の全員の銀行口座について委任状を得ています。私は、上司に相談すべきか否か悩んでいます。

私はどうすべきでしょうか？

あなたは直ちに本件を上司またはコンプライアンス部門に報告すべきです。

? 私は、経済の状況が良くないある国で、法人営業の担当者としています。私の顧客である一社から電話があり、資金繰りに問題が生じたと言って来ました。そして、ローンへの返済が止まりました。その会社と債務整理に関する契約を結ぼうと考えていたところ、別のお客様から、その会社のCEOが逃走し行方不明である旨知らされました。その国の不安定な状況および顧客の経済的な苦境を考慮して、私は同社への債権を償却すべきと思っています。

わたしは、リスクを冒すことなく、償却を行うことができますか？

いいえ、あなたは債権回収の手続きを開始する必要があります。事実上の債権放棄となる債権の償却を直ちに行うことは、顧客である債務者の利益となり、当社が不当な利益を与えたとみなされる可能性があるからです。

? 3か月の間、私のお客様の銀行口座に多額の金銭が振り込まれています。振り込みは、A国に所在する会社から行われていて、送金明細には「コンサルタント料」または「雑費」と記載されています。

お客様は、受領した資金については、B国に所在する彼が所有する会社の銀行口座に送金するよう常に指示します。その会社も私が担当しています。資金は、その後さらに別の会社へ送金されます。問い合わせの結果、送金先の会社はある国の政府と近い関係にあることが判明しました。

私はどうすべきでしょうか？

あなたは本件を上司またはコンプライアンス部門に報告すべきです。



BNP PARIBAS

The bank
for a changing
world